

(別紙様式 2)

学生等評価の改善状況報告書

平成 26 年 3 月 7 日

評価会議議長 殿

大学教育センター長

静岡大学における学生等による評価に関する基本方針に基づき、平成 24 年度に実施された学生等による評価結果に係る改善事項について、平成 25 年度の改善状況を次のとおり報告します。

改善事項
学部生の英語教育
改善計画
平成 25 年度の共通教育カリキュラム改革において、(1) TOEIC の得点に応じた到達度別授業科目の設定と基礎的基準に達しない学生に対する補習授業の制度化 (2) 海外英語研修の単位化、アカデミックイングリッシュの導入と自由科目の設定の組み合わせによる英語関係授業科目の履修範囲拡大等を実施したので、その学習効果を検証し、授業内容等の改善をはかる。 実施時期 (予定を含む) : 平成 25 年度以降の入学生について検証し、改善をはかる。
改善状況
新カリの導入により TOEIC 平均点が前年度比 22 点アップするなど、学生の英語能力向上に大きな成果があった。また海外研修の単位化も研修参加者確保に貢献した。
達成年度 (予定を含む)
平成 25 年度

改善事項
学部生の初修外国語
改善計画

平成 25 年度の共通教育カリキュラム改革において、(1) 入門科目の全学部必修化（一部選択必修）(2) 発展的科目の履修範囲拡大等を実施したので、その学習効果を検証し、授業内容等の改善をはかる。

実施時期（予定を含む）：平成 25 年度以降の入学生について検証し、改善をはかる

改善状況

新たに初修外国語入門科目（選択必修）を立ち上げた工学部の履修者が 230 名あまりにのぼるなど、新カリの下で学生の多様な外国語への関心を喚起することができた。

達成年度（予定を含む）

平成 25 年度